



週報

入間ロータリークラブ



2018-2019 RI 会長:バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー:茂木正 会長:齋藤栄作 幹事:豊田義継

第27号 3057例会 2019年1月17日(木)

新年会開催

- 武蔵クラブ
- 点鐘 : 18:30

<❀会長の時間❀> 齋藤栄作会長

皆さんこんばんはさて、1995年1月17日5時46分52秒阪神淡路大震災が勃発して24年が経過しました。当時私は36歳で日本青年会議所に出向しておりました。当時全国で約7



万8千人の会員の頂点である会頭が神戸出身の山本会頭であり娘さんを自宅で亡くされました。その後も被災者としての立場で全国にて機会があるたびに震災についての在り方を語っておられたのが大変印象に残っております。

昨年は「災い」という文字が1年間を反映する文字として選ばれるほど日本は災害にみまわれました。どうか今年には災害が少なくなるように願っております。

1月16日には久しぶりに登場し大人気の日本人横綱「稀勢の里」が引退を発表し何か寂しい気がしておりますがこちらは弟子たちの育成に大きく期待をしようと思いません。さて、入間市は現在「相撲の街」入間としても知られるようになりました。入間青年会議所のわんぱく相撲から始まった、わんぱく相撲入間場所の中から北勝富士(中

村大輝)が誕生し現在、その後を3名の学生力士が追っています。特記したい選手として今年学生横綱というビックタイトルを奪取した入間市出身の中央大学2年生、菅野陽太選手がいます。3年生、4年生と連勝が大きく期待されます。10月には毎年春日野部屋の合宿が入間にて行われ正にその風景は「相撲の街」入間を象徴するものです。ちなみに入間市の「ゆるキャラ」は市の鳥ひばりが化粧まわしを巻いているものです。1995年に私が青年会議所の担当副理事長として始めたわんぱく相撲が現在南ロータリークラブ会員の西沢正夫君の指導力と西沢正夫君を始めとする多くの携わった人々の努力で今まさに花を開いています。

「継続は力なり」ロータリー活動にも学ぶべきところが多い事例です。

インフルエンザ、風邪等体調不良の方が多いうようです。皆さんぜひお体には充分留意してお過ごしください。

<幹事報告>

豊田義継幹事

(報告・予定等)

1. 3062回例会(2月21日)の例会場変更について臨時理事会を開催し、会場の変更を決定します。



発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイツ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓

